

1. 件名：NEA Country-Specific Safety Culture Forumに関する面談

2. 日時：令和4年7月6日（水）17時00分～17時30分

3. 場所：原子力規制庁 8階南会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 原子力規制企画課

金城課長

長官官房 総務課 国際室

齋藤総括補佐

電気事業連合会

原子力部長 他2名

5. 要旨

○NEA Country-Specific Safety Culture Forum（以下「CSSCF」という。）について、NEAと原子力規制庁間でこれまで議論をしてきたが、原子力規制庁が参加するにあたっては、①原子力規制庁は参加者であって、開催者（共催含む）ではないこと、②可能な限り公開で開催すること、③重要なステークホルダーである自治体を参加させること、④原子力規制庁からの拠出金はない、という形になることでNEAとも認識を共有していることを原子力規制庁から伝えた。

○電気事業連合会からは、特に③と④については、参加企業とも議論を行う必要があるとのことであった。

○その上で、CSSCFについて議論する際には、原子力規制庁、電気事業連合会、NEAの三者で打ち合わせをしたい旨の希望が示された。

6. その他

提出資料：なし

以上